

DATA：内科／整形外科（関節リウマチ）

- 【リウマチ関連施設認定】日本リウマチ学会教育施設、日本整形外科学会研修施設、日本手の外科専門医認定研修施設
- 【内科】日本内科学会認定内科医、日本リウマチ財団登録医、日本リウマチ学会専門医、日本リウマチ学会指導医
- 【整形外科】日本整形外科学会専門医、日本手外科学会専門医、日本リウマチ学会専門医、日本リウマチ学会指導医、日本整形外科学会認定リウマチ医、日本リウマチ財団登録医

新薬登場による治療の変化

1980年代後半から有効な抗リウマチ薬が次々に登場し、これまでの関節リウマチの治療に大きな変化をもたらしました。さらに現在では関節破壊抑止効果に優れた生物学的製剤が登場したことで、治療の選択肢がさらに拡大しています。当院では5名のリウマチ専門医（内科常勤2名、非常勤1名、整形外科常勤2名）が外来診療にあたっており、この数は病院規模からみても大変充実しているといえます。このような体制のもと、発症早期で関節変形がみられない方から高度の関節変形を伴う方まで幅広く診療しています。関節変形によって日常生活に支障がある患者様には、内科・整形外科の両アプローチを含めて専門医間で連携して最善の治療を行っています。

早期診断、早期治療が求められる

従来、関節リウマチによる関節破壊の進行はゆっくりとしたものと考えられていました。しかし最近の研究では数か月で急速に進行する症例も存在することが明らかとなり、早期診断、早期治療が



5名の専門医が導く、関節リウマチの希望。

求められています。進行した関節リウマチはX線画像診断による骨の変化が明確なため、比較的容易に診断できます。しかし早期では骨の変化がみられないケースや、リウマチ反応が陰性のケース、さらにはほかの疾患によって関節の腫脹を引き起こしているケースもあり、病歴聴取や様々な検査を含めた総合的な判断が必要となります。当院では経験豊富なリウマチ専門医が鑑別診断を的確に行い、早期診断、早期治療を実施しています。

経口薬を第一選択に ～内科的アプローチ～

疾患修飾性抗リウマチ薬には経口薬と注射薬があります。関節炎の程度および合併症の状況など、患者様の状態を勘案しながら、一剤で効果が現れないときは数種組み合わせるなど常に最善の薬剤選択をしています。薬剤の有効性を十分に引き出すことで、全体の約8割の患者様は経口薬のみで症状コントロールが可能です。近年話題となっている生物学的製剤（注射薬）は、当院では経口薬の効果がみえにくい症例、重度の関節炎あるいは関節破壊進行の早い症例において投与を検討しています。ただし生物学的製剤は経口薬と比べて高価かつ合併症による禁忌もあるなど、加療が必要と判断される患者様でも容易に投与できないという課題もあります。

QOLとともに向上を目指すもの ～外科的アプローチ～

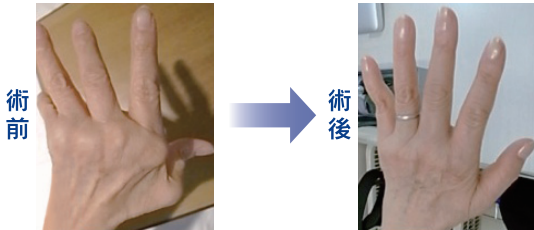
従来、関節破壊に対する人工関節置換術や関節固定術が主流でしたが、内科的アプローチの効果

治療、そして研究・開発にも力を注ぐ

内科／
整形外科
(関節リウマチ)

もあり近年では関節形成術なども見直されてきています。薬剤によってコントロールされ、比較的軽度かつ関節破壊が進行する前の症例においては、奏効性が高く良好な予後も期待できます。一方、関節破壊が重度で変形、拘

縮が強い末期の関節に対しても、当院の関節班が対応しています。一度、ご相談ください。また、手や足の変形が生じた患者様のQOL向上の観点とともに女性の割合が多い疾患であることから美容的な観点への対応も積極的に行っています。人工指関節術では痛みとともに美容面の改善も期待でき、患者様の満足度も向上します。リウマチの症状は人それぞれですが、ひとりでも多くの患者様の要望に応えられるよう、さらに長期成績の良い人工指関節の開発にも取り組んでいます。



このように内科、整形外科の両アプローチをふまえた集学的診療をベースに、将来的には専門外来の構築も検討しています。

患者様紹介について

関節リウマチは早期診断、早期治療が重要です。少しでも疑われる場合は内科にご紹介ください。変形や関節症に対する外科的治療をご希望の場合は、整形外科にご紹介ください。内科は専門医の初診外来担当日が決まっています。整形外科は罹患部位に応じて診療日が決まっています。以下の表をご参考に地域連携・医療福祉室までお問い合わせください。

内科	月曜日 午前	整形外科	整形全般、腫瘍	脊椎	上肢	下肢
			穴澤、渡部	青山、二宮、鈴木	越智、水野	堀田

information

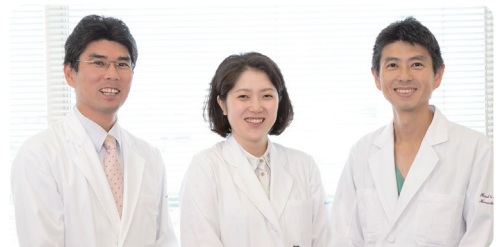
市川リレーションシップカンファレンスを開催します

地域のみなさまに安心して医療を受けていただくための体制構築に向けた、東京歯科大学市川総合病院と地域の先生方を結ぶ新たな取り組み“市川リレーションシップカンファレンス”。紹介・逆紹介においてそれぞれの専門性を最大限に活かせるように、相互理解を目的としたカンファレンスです。

- ❖ 日程：平成28年11月21日(月)
- ❖ 時間：19:30～21:00
- ❖ 場所：東京歯科大学市川総合病院 角膜センター3階会議室

「最新の関節リウマチの診療」

- | | | | |
|----------|------------|-------|-------|
| 講演
予定 | ●内科…………… | 瀬田 範行 | 塚本 昌子 |
| | ●整形外科…………… | 堀田 拓 | 越智 健介 |



内科
瀬田 範行

内科
塚本 昌子

整形外科
越智 健介

みなさまのご参加、お待ちしております。

医療機関の先生方へ

市川総合病院 診療情報提供書

検索

当院と地域の病院・診療所の先生方との間で、患者様のご紹介などを円滑に行えるように、「地域連携・医療福祉室」を設置しています。ご不明な点がございましたら、下記へお尋ねください。

地域連携・医療福祉室 TEL 047-322-0151(内線2214) FAX 047-324-8539(直通)

開室時間 月曜日～金曜日：午前9時～午後5時 土曜日：午前9時～午後1時(第2土曜日は休診日)